

専門研修プログラム実績一覧表への 全国調査データ活用（Kコード等）

利用方法

専門医制度委員会／調査委員会

手元に必要なファイル

1. 下書きファイル（第●回通常調査 手術件数下書きファイル）
2. 別表1 （別表1：専門研修プログラム_自動変換（第●回通常調査対応））
3. 診療実績一覧表（専門研修連携施設の診療実績一覧表）

1. 各ファイルの説明

◆1：下書きファイル（「第●回通常調査 手術件数下書きファイル」）

令和5年度全国調査（第19回通常調査、6月実施）にて、「第19回通常調査 手術件数下書きファイル」が配布されています。これは、手術件数をKコードで出力するための一覧表であるとともに、各施設で手元に1年間のKコード毎の件数データを保管してもらうためのものでもあります。

◆2：別表1（「別表1：専門研修プログラム_自動変換（第●回通常調査対応）」）

下書きファイル（上記）の数値データを、この別表1の「入力シート」に、数値データのみコピーすると、エクセルファイル内の領域毎シートに自動的に集計されます。

◆3：専門研修プログラムの書類における診療実績一覧表（専門研修連携施設の診療実績一覧表）

- ・「別表1」を添付する場合
通常調査の際に出した件数をそのまま利用でき、資料3の該当欄には、赤字の集計欄のみを記入すれば良いようになりました（手術件数詳細の根拠資料として、自動計算した別表1を提出する）
- ・「別表1」を添付しない場合
従来どおり、手術件数詳細と合計件数欄に記入して提出してください

<※重要：診療実績一覧表は、今回から WORD→EXCELの形式に変更になりました>

1. 毎年6月に実施される「全国調査（通常調査）」：下書きファイル

手術件数をカウントする際に、「下書きファイル」を用いてKコード毎の件数を出し、この「下書きファイル」は、翌年3月末まで保管しておく

下書きファイル



2023年通常調査実施時にお送りしたメール

件名：通常調査アンケートのお願いと回答方法について

各都道府県地方部会長各位

、 、 、 、
、 、 、 、

【病院・大学病院の皆様へ】

なお前回から病院・大学病院の皆様の「手術の状況」の報告はKコードでの回答に変わりました。Kコードでの入力にすることにより、項目数は増えますが術式にあわせ集計する際の手間や間違いを防ぐのが目的です。

病院・大学病院のシステムご担当者にご連絡いただきレセプト情報から期間中のKコード出力をご依頼ください。この作業をスムーズに行えるよう、第19回通常調査で対象となるKコードをリストアップした下書きファイル「第19回通常調査_手術件数下書き.xlsx」ファイルを作成しています。

<http://www.orlsj->

[workshop.umin.jp/enq2023/hospital_enq2023_draft.zip](http://www.orlsj-workshop.umin.jp/enq2023/hospital_enq2023_draft.zip)

施設内のデータをこの形式で保管しておくことにより、将来専門研修プログラム作成時の集計などにおいて便利に活用いただけるような仕組みを検討、準備中です。現時点では転記用の下書きにとどまりますが、よろしければご活用下さい。

A	B	C
Kコード	Kコード術式	件数
2	K0000a 頸部郭清術加算 片側	
3	K0000b 頸部郭清術加算 両側	
4	K0001 創傷処理（筋肉、臓器に達する	
5	K0002 創傷処理（筋肉、臓器に達する	
6	K0003f 創傷処理（筋肉、臓器に達する	
7	K0004 創傷処理（筋肉、臓器に達しな	
8	K0005 創傷処理（筋肉、臓器に達しな	
9	K0006 創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの（長径10センチ	0
10	K0011 皮膚切開術（長径10センチメートル未満）	0
11	K0012 皮膚切開術（長径10センチメートル以上20センチメ	3
12	K0013 皮膚切開術（長径20センチメートル以上）	0
13	K0021 デブリードマン（100平方センチメートル未満）	0
14	K0022 デブリードマン（100平方センチメートル以上3、0	0
15	K0023 デブリードマン（3、000平方センチメートル以上）	0
16	K0031 皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部）（長径3セ	0
17	K0032 皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部）（長径3セ	0
18	K0033 皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部）（長径6セ	0
19	K0041 皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部以外）（長径	0
20	K0042 皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部以外）（長径	0
21	K0043 皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部以外）（長径	0
22	K0051 皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2センチメート	0
23	K0052 皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2センチメート	0
24	K0053 皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径4センチメート	0
25	K0071 皮膚悪性腫瘍切除術（広汎切除）	0
26	K0072 皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	0
27	K0111 顔面神経麻痺形成手術（静的なもの）	0
28	K0112 顔面神経麻痺形成手術（動的なもの）	0
29	K013-21 全層植皮術（25平方センチメートル未満）	0
30	K013-22 全層植皮術（25平方センチメートル以上100平方セ	0
31	K013-23 全層植皮術（100平方センチメートル以上200平方	0
32	K013-24 全層植皮術（200平方センチメートル以上）	0
33	K0131 分層植皮術（25平方センチメートル未満）	0
34	K0132 分層植皮術（25平方センチメートル以上100平方セ	0

Kコード順に一覧になっています。件数のところに数字を入力します。Kコード表記なので、病院事務部への依頼がスムーズになります

2. 毎年3月に申請する「専門研修プログラム」において 実績一覧表へ「別表1」を添付する

通常調査時に「下書きファイル」で収集したKコード件数を実績一覧表で使用する。

A		下書きファイル		C
Kコード	Kコード術			件数
2	K0000a	頸部郭清術加算	片側	0
3	K0000b	頸部郭清術加算	両側	0
4	K0001	創傷処理（筋肉、臓器に達するもの（長径5センチメ		0
5	K0002	創傷処理（筋肉、臓器に達するもの（長径5センチメ		0
6	K0003イ	創傷処理（筋肉、臓器に達するもの（長径20センチメ		0
7	K0004	創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの（長径5センチメ		0
8	K0005	創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの（長径5センチメ		0
9	K0006	創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの（長径10センチ		0
10	K0011	皮膚切開術（長径10センチメートル未満）		0
11	K0012	皮膚切開術（長径10センチメートル以上20センチメ		3
12	K0013	皮膚切開術（長径20センチメートル以上）		0
13	K0021	デブリードマン（100平方センチメートル未満）		0
14	K0022	デブリードマン（100平方センチメートル以上3、0		0
15	K0023	デブリードマン（3、000平方センチメートル以上）		0
16	K0031	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部）（長径3セ		0
17	K0032	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部）（長径3セ		0
18	K0033	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部）（長径6セ		0
19	K0041	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部以外）（長径		0
20	K0042	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部以外）（長径		0
21	K0043	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部以外）（長径		0
22	K0051	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2センチメ		0
23	K0052	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2センチメ		0
24	K0053	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径4センチメ		0
25	K0071	皮膚悪性腫瘍切除術（広汎切除）		0
26	K0072	皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）		0
27	K0111	顔面神経麻痺形成手術（静的なもの）		0
28	K0112	顔面神経麻痺形成手術（動的なもの）		0
29	K013-21	全層植皮術（25平方センチメートル未満）		0
30	K013-22	全層植皮術（25平方センチメートル以上100平方セ		0
31	K013-23	全層植皮術（100平方センチメートル以上200平方		0
32	K013-24	全層植皮術（200平方センチメートル以上）		0
33	K0131	分層植皮術（25平方センチメートル未満）		0
34	K0132	分層植皮術（25平方センチメートル以上100平方セ		0

別表1の入力シート

A	読みの書式	読みの書式	D
Kコード	読みの書式	読みの書式	件数
2	K0000a	K0000a	14
3	K0000b	K0000b	14
4	K0001	K0001	9
5	K0002	K0002	17
7	K0003イ	K0003イ	7
8	K0004	K0004	8
9	K0005	K0005	18
9	K0006	K0006	4
0	K0011	K0011	0
1	K0012	K0012	9
2	K0013	K0013	17
3	K0021	K0021	13
4	K0022	K0022	4
5	K0023	K0023	8
8	K0033	K0033	11
9	K0041	K0041	6
9	K013-21	K013-21	2
0	K013-22	K013-22	6
1	K013-23	K013-23	13
2	K013-24	K013-24	8
3	K0131	K0131	11
4	K0132	K0132	18

「下書きファイル」で件数の列を全てコピーして、
「別表1」の一番左側のシート（入力シート）に、
数値のみを貼り付ける。演算式などは貼り付けない。
（形式を選択して貼り付け → （値（V）））

※1：エクセルで、数値のみ貼り付ける操作について、
後のページに説明を記載しました

3. 別表1で、各領域別の件数が自動計算される

別表1

専攻医募集人数の定員算出に必要な手術（鼻科）		件数	
内視鏡下鼻副鼻腔手術		計	243 件
K331-2	下甲介粘膜焼灼術		
K331-3	下甲介粘膜レーザー焼灼術		
K335-2	上顎洞鼻内手術（スツルマン氏、吉田氏変法を含む。）	17	件
K340-3	内視鏡下鼻・副鼻腔手術1型（副鼻腔自然口開窓術）	13	件
K340-4	内視鏡下鼻・副鼻腔手術2型（副鼻腔単洞手術）	19	件
K340-5	内視鏡下鼻・副鼻腔手術3型（選択的（複数洞）副鼻腔手術）	0	件
K340-6	内視鏡下鼻・副鼻腔手術4型（汎副鼻腔手術）	8	件
K340-7	内視鏡下鼻・副鼻腔手術（5型）	8	件
K342	鼻副鼻腔腫瘍摘出術	2	件
K3431	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（切除）	18	件
K3432	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（全摘）	18	件
K343-2	経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（頭蓋底郭清等）	2	件
K344	経鼻腔の翼突管神経切除術	4	件
K347-3	内視鏡下鼻中隔手術1型（骨、軟骨手術）	7	件
K347-4	内視鏡下鼻中隔手術2型（粘膜手術）	18	件
K347-5	内視鏡下鼻腔手術1型（下鼻甲介手術）	6	件
K347-6	内視鏡下鼻腔手術2型（鼻腔内手術）	7	件
K347-7	内視鏡下鼻腔手術3型（鼻孔閉鎖症手術）	6	件
K352-3	副鼻腔炎術後出血止血法	9	件
K153	鼻性頭蓋内合併症手術	11	件
K158	視神経管開放術	6	件
K171-21	内視鏡下経鼻の腫瘍摘出術（下垂体腫瘍）	5	件
K171-22	内視鏡下経鼻の腫瘍摘出術（頭蓋底脳腫瘍（下垂体腫瘍を除く）	4	件
K179	髄液瘦閉鎖術	17	件
K204	涙嚢鼻腔吻合術	6	件
K227	眼窩骨折靱帯の手術（眼窩プロアウト骨折手術を含む。）	15	件

各領域のシートへ件数が自動的に転記され、合計数も自動計算される。
左のサンプルは、鼻領域の演算結果を示している

別表1で自動計算された件数（例：内視鏡下鼻副鼻腔手術243件）を手入力で実績一覧表の赤字部分（按分前）に転記する。各領域に関し、この作業を行う。

【2024年1月追記】

実績一覧表

別表1を提出する施設も赤字の合計件数は必ず記載してください。

3. 専門領域における年間手術数およびその細目

	按分前（件）		按分後（件）	
耳科手術	計	件	計	件
鼓室形成術				
鼓膜チューブ挿入術	計	件	計	件
人工内耳手術				
中耳骨手術				
鼓室縮小術				
先天性中耳炎摘出術				
外耳道形成術				
鼓膜形成術				
乳突削開術				
試験的鼓室開放術				
中耳根本術				
内リンパ嚢開放術				
聴神経腫瘍摘出術				
鼻科手術		件	計	件
内視鏡下鼻・副鼻腔手術	計	件	計	件
鼻中隔矯正術				
鼻甲介切除術				
視神経管開放術				
涙嚢・鼻涙管手術				

ここに243と手入力

4. 手入力が必要なKコードがあります

別表1 エクセル内の各シートで、セルが黄色い項目は、複数の領域に提示されているKコードです。どの領域で行った手術かはエクセルで判別できないため、各施設で行った領域（鼻、耳など）のシートに手入力で件数を入れてください。合計数へ加算されます。

例：K179 髄液瘻孔閉鎖術

別表1

下書きファイル

	A	B	C	D
56	K159-2	K159-2	顔面神経管開放術	0
57	K169-2	K169-2	頭蓋内腫瘍摘出術（その他のもの）	0
58	K170	K170	経耳的聴神経腫瘍摘出術	0
59	K171	K171	経鼻的下垂体腫瘍摘出術	0
60	K171-21	K171-21	内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術（下垂体腫瘍）	0
61	K171-22	K171-22	内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術（頭蓋底脳腫瘍（下垂体腫瘍））	0
62	K179	K179	髄液漏閉鎖術	5
63	K182-22	K182-22	神経変性脳白質病（その他のもの）	0
64	K182-32	K182-32	神経再生誘導術（その他のもの）	0
65	K1822	K1822	神経縫合術（その他のもの）	0
66	K190-08	K190-08	舌下神経電気刺激装置植込術	0

	A	B	C	D	E
57	K312	鼓膜鼓室内芽切除術			0件
58	K315	鼓索神経切断術			0件
59	K316	S状洞血栓手術			0件
60	K317	中耳根治手術			0件
61	K321	内耳閉塞術			
62	K322	経迷路的内耳道開放術			
63	K323	内リンパ嚢開放術			
64	K3251	迷路摘出術（部分摘出（膜迷路摘出術を含む。））			
65	K3252	迷路摘出術（全摘出）			
66	K179	髄液漏閉鎖術			0件
67	K152	耳中隔形成術			
68	K152-2	耳中隔形成術（直接鼓動型）植込術			
69	K169-2	頭蓋内腫瘍摘出術			
70	K179	髄液漏閉鎖術			
71	K320-2	人工中耳植込術			0件
74	K320-2	人工中耳植込術			0件
75	K328-2	植込型骨導補聴器移植術			0件
76	K328-3	植込型骨導補聴器交換術			0件

手入力で「5」と記入する

K179 は自動では転記されない

資料1の下書きファイルから、別表1の入力シートにコピーした項目の中に各領域のシートへは自動では転記されないものがあり、各領域シート内でセルが黄色くなっています。（右図）
例えば、髄液瘻閉鎖術K179は、耳でカウントするのであれば、耳シートに手入力で「5」と入れてください（青矢印）。

件数の、入力シートから各領域シートへの
手入力が必要なKコード

K151-2 広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建
(耳、鼻、頭頸部)

K179 髄液漏閉鎖術
(耳、鼻)

- ※以下は、通常調査項目に含まれないため手入力となります。
- K4071 顎・口蓋裂形成手術 (軟口蓋のみのもの)
 - K4072 顎・口蓋裂形成手術 (硬口蓋におよぶもの)
 - K4073 顎・口蓋裂形成手術 (片側)
 - K407 イ 顎・口蓋裂形成手術 (方側)
 - K407 口 顎・口蓋裂形成手術 (両側)

※1：エクセルで、数値のみ貼り付ける操作について

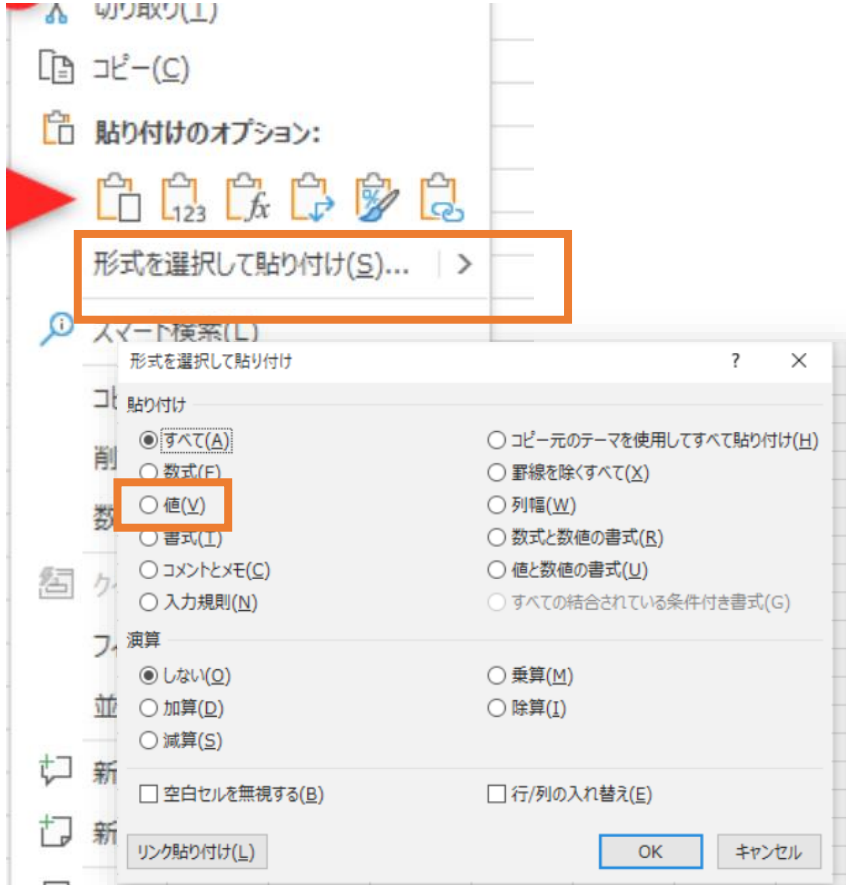
(ご存じの場合は、読み飛ばしてください)

数値をコピーしたのち、
貼り付けたいセル上で
右クリックすると、
このウィンドウが
出ます。

「形式を選択して貼り
付け」を選ぶと、

ウィンドウが開きます

ここで「値 (V)」を
選択すると、数値のみ
を、貼り付けることが
できます。



5. 専門研修プログラム申請時に提出する書類

1. 提出書類

以下の5点を書面およびデータ（USBメモリ）で提出してください。

(1) 専門研修プログラム申請書A ※2023年1月一部変更

(2) 専門研修プログラム申請書B（一般社団法人 日本専門医機構所定のもの）
※1連携施設・1関連施設につき1ファイルを作成してください。

➡ (3) 専門研修施設群の診療実績一覧表（日耳鼻所定のもの）※2022年12ページを改訂

・ 基幹施設の別表1を添付

➡ (4) 専門研修連携施設の診療実績一覧表（日耳鼻所定のもの）

※1連携施設・1関連施設につき1ファイルを作成してください。

※**連携施設毎の別表1も1施設に1ファイルを作成して添付してください**

(5) 専門研修プログラム（冊子）※自専門研修プログラムの詳細を記載したもの

(6) 専門研修プログラム変更届（前年度から変更があった場合に提出してください）

別表1を添付する書類は
(3)
(4)

6. ご注意ください

- ・別表1の添付の有無にかかわらず、専門研修連携施設の診療実績一覧表の提出は必要です。
- ・**別表1を添付する場合**は、実績一覧表「3. 専門領域における年間手術数およびその細目」は、**赤字部分のみを記載**すればOKです。
- ・**別表1を添付しない場合**は、実績一覧表「3. 専門領域における年間手術数およびその細目」にて、手術件数詳細と合計**全てを記載**して下さい。
- ・「下書きファイル」「別表1」は、手術名称やKコードの増減などを毎年更新するため、**年度毎に最新のファイルを日耳鼻HPからダウンロード**して下さい
- ・「下書きファイル」「別表1」のエクセルの**書式を変更、編集しないで**ください。自動変換ができなくなります。